

2025 年 9 月 3 日

国立循環器病研究センターで病理解剖を実施された患者さんのご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究は、当院にて病理解剖を行なった患者様のカルテ情報・病理組織標本から得られた以下の情報を解析してまとめるものです。この研究のために、新たな検査等はいりません。ご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、以下の担当者までご連絡ください。また、この研究に診療の情報を使ってほしくないとのことがある場合も、遠慮なくご連絡ください。お申し出以降は、その方の情報はこの研究には利用せず、すでに収集した情報があれば削除します。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2013 年 9 月～2018 年 6 月の間に、国立循環器病研究センターにて脳血管障害ないしは虚血性心疾患のために入院・治療の上死去され、病理解剖を受けられた方。

【研究課題名】非造影核磁気共鳴画像（MRI）撮像法を用いた 冠動脈硬化巣および血栓の評価法の病理組織像・分子的検証

【研究責任者】

国立循環器病研究センター 心臓血管内科 医長 浅海泰栄

【研究の目的・意義】

MRI による冠動脈硬化巣の画像診断と病理組織像（冠動脈・心臓）の対比を行うこと、加えてその病態の分子背景を検証することを目的にしています。この研究の成果は、将来的に動脈硬化に対する新たな治療法の発見に繋がることが期待されます。

【利用する試料・診療情報】

試料：冠動脈病理組織標本（取得の経緯：国立循環器病研究センターで実施した病理解剖、利用目的：冠動脈硬化病変の病理組織所見及び分子像を明らかにするために使用）

診療情報：入院診断名・死因・年齢・性別・入院日・既往歴・採血データ（生前時 血算・肝臓機能・腎臓機能・脂質・HbA1c）

【試料・情報の管理責任者】

国立循環器病研究センター 理事長 大津欣也

【研究の実施体制】

研究代表者

国立循環器病研究センター 心臓血管内科 医長 浅海泰栄

共同研究機関・研究責任者

日本臨床プロテオゲノミクス学会 西村俊秀

共同研究が終了した研究機関：2022 年 3 月迄にて終了

1. 同志社大学 医生命システム科 教授 池川雅哉
2. 昭和大学 法医学講座 教授 松山高明

【外部機関への情報等の提供】

病理組織標本の包括的蛋白質解析のため、以下の業務委託機関・共同研究機関に冠動脈病理組織標本・病理組織解析情報を提供します。提供する際は、あなたのお名前等は削除し、個人を直接特定できないようにします。

病理組織標本

業務委託機関：株式会社バイオシス・テクノロジーズ（代表取締役 板東泰彦）

提供方法：郵送

病理組織解析情報

共同研究機関：日本臨床プロテオゲノミクス学会（西村俊秀）

提供方法：電子的送付

【研究期間】研究許可日より2030年6月30日まで（予定）

情報の利用を開始する予定日：2025年 6 月30日

【個人情報の取り扱い】

この文書は、研究期間中、国立循環器病研究センターホームページ“実施中の臨床研究”内に掲載しています。将来、この研究の計画を変更する場合や、収集した試料・情報を新たな研究に利用する場合は、倫理審査委員会の承認と、研究機関の長の許可を受けて実施します。その際も、個別にお知らせしない場合は、同ページに公開いたします。

【この研究の結果について】

この研究は、対象者または遺族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 心臓血管内科 医長 浅海泰栄

電話：06-6170-1070